



2003 ~ 2004 年度
R I テーマ

Lend a Hand 手を貸そう

四つの重点分野：貧困・健康・識字・ロータリーファミリー

Lend a Hand

国際ロータリー会長 ジョナサン B・マジリアベ(国籍・ナイジェリアカノ)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ トキ八別府店 7F ぼたんの間
TEL 23-1111
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
〒874-0931 FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail:beppu4rc@fat.coara.or.jp

理事 森 宗明 理事 鳴海淳郎 役員 会長 後藤 隆 S A A 中島澄人
" 村津忠久 " 溝部 仁 副会長 森 宗明
" 後藤健介 " 梶田健治 幹事 小川雅代
" 河村貴雄 " 会 計 岩尾昭治

VOL . 16 - 43
2004年6月8日

第 731 回 例 会

編集 中島 澄人

点 鐘 12 : 30
体 操 自律神経強化体操
R . S . R - O - T - A - R - Y
唱 歌 緑のそよ風
B . G . M . 「日本フィルできく
美しい日本のうた」より
椰子の実
砂山
城ヶ島の雨 他

ビジター 宮崎 清士(佐 伯)

会長の時間 会長 後藤 隆

本日は本年度の第4回目のクラブ協議会ですが、次年度の第1回クラブ協議会を兼ねています。森年度のクラブ運営の方向性を決定する大切な協議会ですので、活発にご協議ください。

幹事報告 幹事 小川 雅代

- ロータリー親睦活動月間 -
...本日は、第4回(新・旧)クラブ協議会を開催致します。...
1. 「大分県インターアクト新旧連絡協議会」開催のお知らせ
日 時 平成16年6月20日(日) 12:00~15:00
場 所 別府 亀の井ホテル *昼食付
参加者 新旧インターアクト委員長
2. 第12回定例理事・役員会報告

出席報告 委員長 佐藤 民子

本日 の 出 席	会 員 総 数	24 名
	出 席 者	16 名
	事前メイクアップ	5 名
	理 事 会 承 認	1 名
	出 席 免 除	0 名
出 席	欠 席 数	2 名
	出 席 率	69.57 %
前 々 回 の 訂 正	出 席 率	78.26 %
	事後メイクアップ	0 名
	理 事 会 承 認	1 名
	出 席 免 除	0 名
5/25	修 正 出 席 率	100 %

連 続 8 回
通 算 666 回 100 %

・メイクアップ

事前 木村、河村、吉富、梶田、平野(別府東)
事後
欠席 佐藤、土谷

(H16.6.1(火)13:40~於/トキ八別府店例会場8名)

審議事項

- 1) 次年度(2004~2005年度)クラブカレンダーの件。 *承認
- 2) トリコロールお礼の件。
*例年通り20,000円 承認
- 3) RI第2720地区(2004~2005年度)第20回インターアクトクラブ年次大会の件。
*承認(例年通りクラブより援助金支出)
期 日 平成16年8月7日(土)~8日(日)



会 場 臼杵市民会館(開会式、シンポジウム)
大分市立うすき少年自然の家(宿泊、交流会)
支援 R C 臼杵ロータリークラブ
クラブ援助金 30,000円(各クラブ毎)

週報730号
「あたかも昼のあとに夜がつづくように
ロータリーの実践がはじまる」
(R情報委員長:鳴海淳郎)

4) 6月例会予定の確認 *承認

6月1日「2004年国際大会(関西)報告会」
8日「第4回(新・旧)クラブ協議会」
15日「会員卓話」津末美代子会員
22日「会長・幹事慰労会」於:竹の井ホテル
29日「会員卓話」岩尾昭治会員

5)「別府中央 R C 創立20周年」に向け準備室
設置の件。 *承認
準備室代表として鳴海淳郎会員を選任

3. お祝い

結婚記念日 津末美代子さん(6月10日)
*ご自宅にお花が届きます。

4. 例会変更のお知らせ

杵築 R C 6月17日(木)の例会は、クラ
ブ協議会の為 同日18:30~パ
ストラル三河苑に時間変更

くにさき R C 6月23日(水)の例会は、会長
・幹事慰労会の為 同日18:30
~志まるに時間・場所変更

宇佐 R C 6月24日(木)の例会は、クラ
ブ協議会の為 同日19:00~か
んぼの郷宇佐に時間・場所変更

別府東 R C 6月24日(木)の例会は、定款
第5条第1節(C)に基づき休会

豊後高田 R C 6月29日(火)の例会は、最終
例会の為 同日18:30~ひまわ
り荘に時間変更

中津 R C 6月30日(水)の例会は、夜の
例会の為 同日18:30~川島眞
人会長宅に時間・場所変更

別府北 R C 6月30日(水)の例会は、会長
・幹事歓送迎会の為 同日18:00
~ホテル白菊に時間変更

湯布院 R C 6月30日(水)の例会は、友愛
例会の為 同日12:30~例会場
(喫茶クリケット)に場所変更

5. 次週の予定

「ロータリーの職業奉仕」溝部 仁会員

6. 本日の回覧

「会長・幹事慰労会」出欠席

7. 本日の配布

ガバナー月信6月号

スマイルボックス 委員長 村津 忠久

後藤会長

あと3回! あと3回!!、あと3回!!!

小川会員

あと3回、「ほっ」とするやら少し寂しいやら。
後藤会長もう少し、がんばって下さい。

後藤(健)会員

スマイルボックス年間目標額百万円達成のために、
今週から年度末の6月最終例会まで貧者の一灯を...
上妻会員

ロータリーの合唱祭に初参加しました。詳細は
口頭で報告します。

梅津会員

本日 O B S 「ナイスキャッチ」10時20分より
45分迄『ウエディングブーケとドレス特集』にお
いて次男梅津圭二のデザインがテレビで発表され
ました。梅津圭二の『花遊びコーナー』も毎週水
曜日に放映されていますが、それもとても人気が
あるそうです。本日の大分合同新聞にもカラーで
「カジュアルフラワー」コーナーも1ヶ月に1回記
載されています。皆様方もおひまな時、見てみて
下さい。スマイル。

薬真寺会員

今月より、大分市では高齢者対象のワンコイン
バスがスタートし、大々大好評です。お年寄り
にとって手続きが少しめんどうなのでどうなのかな
と思っていたら、すでに全対象者の半数を超える
2万数千人以上が5月末段階で登録を済ましたそ
うです。大分市内もこころなし高齢者の方々が
増えたようで、それにともない商店街を様々な仕
掛けをしてこれも大好評。ぜひ、お年寄りの多い
別府市もこういったことを優先して取り組んで欲
しいものです。

溝部会員

6月5日土曜日、ロータリーの件で熊本に行っ
て来ました。熊本で一番有名な「うなぎ屋」さん
で宴会をしました。うなぎとキュウリの酢の物が
絶品でした。

近藤会員

津久見 R C の鳥越克行氏のエージシュート達成記
念のゴルフ大会が臼杵 R C で行われましたが、その



記念大会に出席された78才の石井さんという方がグロス78でまわってまたまたエージシュートを達成し、とても信じられないことが重なりました。そんな会の幹事をできたことにスマイルボックス。

大島会員

お久しぶりです。6月は不景気ですので、何かありましたらよろしく。又、森さんにお世話になりましたのでスマイルします。

津末会員

結婚記念日のお祝い有難うございます。ロータリーに入会する迄は何時忘れてました。34才の長女の年齢が結婚してからの年月です。早いものですね。何時迄も若く過ごしたいです。

佐藤会員

今日のクラブ協議会、同窓会の為出席出来ず申し訳ありませんが、県外等に嫁いでいる人達が我が家に集まってから湯布院迄行くので、どうしても都合がつかせません。吉富様も欠席とのこと。報告書は書いていますので、すみません。お詫びにスマイルします。

村津会員

大正7年6月1日、四国霊場一番札所・靈山寺の本堂で、ベートーベンの「第九」が演奏されました。演奏者は、当時、鳴門の板東俘虜収容所にいたドイツ兵です。これに因んで平成元年6月から始められた「全日本第九を歌う会連合会」の「鳴門第九」に今年も出演致しました。今年の指揮者は別府出身の山田啓明氏でした。成功に感謝してスマイル。

ロータリー年度も愈々最終月、スマイルもあと3回です。よろしく申し上げます。

クラブ協議会

会長 後藤 隆

委員会で多少の差はありましたが、概ね年度当初の活動計画に沿って活動ができたようです。会員増強が目標を大きく下回ってしまいましたが、4名の新会員を迎えクラブに新風が吹き込んだ気がいたします。また、繰越金も120万円ほどが見込まれており、ほっとしています。次年度に大きな期待を抱き、森新会長に引き渡したいと思えます。

次期会長 森 宗明

次期、委員会の数を減らして各委員会の人員を増やそうと思えます。このことはすでに理事会での承認を受けており、今クラブ協議会で皆さんに改めてお願いしました。

今期、後藤隆会長の度重なる呼びかけで4名の新会員が入会されました、お陰様で次期の活動に弾みがつきます。早々に委員会毎の会議なり打ち合わせをして頂くようお願いをして参りますのでよろしく願います。

卓 話

『日露戦争百周年に想う』

後藤 健介

軍神・広瀬武夫中佐

旅順港外で壮烈な戦死を遂げた広瀬少佐（戦死後、中佐に特進）その透徹した使命観と部下思いの責任感は全国民の感動を呼び起し、軍神として神社に祀られることになる。（広瀬神社・竹田市）

因みに、日露戦争で神社に祀られた軍人は、筆者の知る限りでは、聯合艦隊司令長官・東郷平八郎元帥（東郷神社・東京新宿）、旅順攻撃の司令官・乃木希典大将（乃木神社・東京赤坂）、遼陽会戦の大隊長・橘周太中佐（橘神社・長崎県小浜）と広瀬中佐の4名のみである。

武骨天使

軍神広瀬と云うと武骨一点張りの人物像が浮かびあがるが、広瀬中佐の人となりについて述べてみよう。

広瀬中佐は豊後竹田の人である。郷里の竹田中学校を卒業したのち、海軍兵学校へ進んだ。当時の兵学校は、東京の越中島にあり、広瀬が最高学年の3年生の時、江田島へ移駐した。兵学校では秋山真之の1級上である。柔道で痛めた膝の故障のため、訓練に十分参加できず卒業成績は上位の方ではなかった。

広瀬と同期のクラスヘッドは財部彪（後の大将、海軍大臣）である。この財部と時の海軍大臣・山本権兵衛大将（後の内閣総理大臣）の令嬢との縁談が持ち上がった。山本家側としては、財部の海軍軍人としての将来性を見込んでのことである。

この話を耳にした広瀬は同期生数名と相謀り、山本海軍大臣の私邸に押しかけた。応接間に通され、山本大将に対面した広瀬は「閣下のご令嬢と、わが同期財部の縁談は取り止めにしてください。財部は、ご令嬢と結婚しなくても実力で将来は海軍を担う人材である。閣下のご令嬢と結婚することにより、女房の七光で偉くなったと噂されるのは、本人のためにも、海軍のためにも由々しい事である云々…」と、一海軍大尉が雲の上の存在である海軍大臣・大将に物申したのである。

広瀬の申し状を黙って聴いていた山本はおもむろに口を開き「貴官の云うことはよくわかった。しかし貴官達は、この山本が私情をもって海軍の人事を左右する人物と思っているのか…」と静かに答えた。山本は日清・日露の両大戦を海軍の要路にあって指導し、その公明正大さと識見の高さは、全海軍に比肩しうるものなしと称された存在である。

広瀬ほか数名の者は、最初の勢いはどこへやら、すっかり

山本の人物に畏服して邸を辞した。この時、広瀬が与えた印象が山本の胸中に残り、後年広瀬の露都ペテルブルグ赴任の因となったと云われている。

広瀬と柔道

越中島の兵学校時代、広瀬は講道館に入門し、稽古に励み柔道五段の免状を受ける。その後、友人とともに講道館柔道の海軍への正式採用に尽力し、海軍柔道の元祖と云われるに到る。広瀬は後に明治の大横綱・常陸山、八代六郎海軍大佐（後に大将、海軍大臣）と義兄弟の契りを結んだのは有名である。

ロシア貴族令嬢との恋

広瀬は少尉時代からロシア語を独習していたが、その事が海軍要路の知るところとなり、露都ペテルブルグの日本公使館に駐在武官付補佐官として語学研修を兼ねて5年間勤務した。上司の駐在武官は八代六郎少佐である。広瀬は、当時の日本人の体格からすると大柄で筋骨逞しく堂々たる偉丈夫である。今日に残されている肖像写真をみても、いかにも武人らしく引き締まった凛々しい容貌の美男子である。しかし、外見の容貌よりも広瀬が備えている五月晴の空を薫風が吹き渡るがごとき爽やかな人柄は周囲の人々を魅了してやまなかった。彼が出入りするペテルブルグの社交界の貴婦人や令嬢達の人気の中心となった。その中で海軍少将コヴァレフスキー伯爵の令嬢でアリアズナ・ウラジーミロヴナという美少女が広瀬をはげしく慕った。

彼女は文学的教養の高い娘で、その知性と美しさはロシア海軍の独身士官（ロシア貴族の子弟）のあいだでは評判であったが、広瀬の5年ちがい滞在の間、やがて彼女は広瀬以外の男性を考えることができなくなった。広瀬も彼女に熱き恋心を抱いた。彼女がロシア語で詩を書いて送り、広瀬がそれに対し漢詩で返事をし、ロシア語の訳をつけたりした。まさに万葉の相聞歌ではないか。しかし、この純愛は日露両国の間に風雲急を告げるなか、広瀬に対する本国の海軍省からの帰国命令によって終わった。

広瀬の旅順港外における戦死は、その後露都ペテルブルグに伝わり、広瀬の恋人だったアリアズナは、伯爵海軍少将の娘でありながら、その未来の夫である日本海軍士官のために喪装をつけ喪に服した。

後年、ロシア革命後は、アリアズナは日本に最も近いウラジオストクに移住し、修道院内の病院で看護婦としてその生涯を閉じた。彼女は心の夫、広瀬武夫との純愛に生涯を捧げたのである。

広瀬がペテルブルグに駐在する間、プーシキンの詩を漢詩に訳したり、ゴーゴリの「隊長ブリーバ」やトルストイの全集を原語で読破した。広瀬の戦死後、彼の蔵書は東京帝大の図書館に寄贈されたが、ロシア関係の原書だけでも数十冊に及ぶものである。

シベリア大陸単独横断

本国の海軍省から帰国命令を受けた広瀬は、諸々の思いをペ



テルブルグに残して帰国の途に就いた。海軍武官の身にかかわらず、広瀬は帰路を陸路にとった。

当時、ロシア帝国に併呑され、その圧政下に呻吟していたバルト三国、ポーランドを経由してモスクワに到り、モスクワからは馬ソリを調達して厳冬のシベリア大陸を単独で横断する大苦難の一大壮挙の旅であった。

彼は情報将校らしく、建設中のシベリア鉄道の状況や軍事地誌に関する貴重な現地情報を収集しつつウラジオストクに達した。

広瀬武夫と文学

広瀬は漢籍の素養が深かった。彼が旅順港閉塞第2次作戦で福井丸で出撃する前に遺書がわりに残した漢詩がある。

七生報國 一死心堅

再期成功 含笑上船

このほかに、長編の漢詩「正気之歌」を残している。

わが国で「正気之歌」として世に有名なのは、幕末水戸学の総帥・藤田東湖の作である。藤田東湖の「正気之歌」には原詩となる「正気之歌」がある。南宋の忠臣、文天祥の作である。文天祥は宋の丞相として南宋の天下を回復しようとしたが、その甲斐なく元軍に捕らえられて大都（北京）に護送された。

元の世祖フビライ（元寇の際の元の皇帝）は、文天祥の才智を惜しみ降伏させ、これを元朝に重く任用しようとしたが文天祥の節義固く在獄3年の後死刑に処せられた。「正気之歌」はその獄中の作である。藤田東湖も文天祥と同じく1年有半の獄中の苦しみに堪えて自らを励まし、文天祥に和して「正気之歌」一篇を作った。吉田松陰もやはり獄中において「正気之歌」一篇を作っている。広瀬も文天祥、藤田東湖、吉田松陰の志を感じ「正気之歌」を作ったのであろう。広瀬武夫の「正気之歌」の最後の句、「七タビ人間二生レテ、国思二報イン」から採った座右の銘「七世報國」は世人の広く識るところである。

支那に於いては「詩八志ヲ謂フ」とある。森鷗外（陸軍軍医総監・中将）乃木大将をひきあいにすすまでもなく、秋山真之にしろ広瀬武夫にしろ明治の軍人は知勇兼備である。同世代における第一級の教養人であった。

降って平成の御世、イラクへ派遣された自衛隊の隊長・番匠幸一郎1佐はイラク到着後、開口一番こう述べている。「私達は武士道の国からやって参りました」と。明治の武人達の高き志が百年後の今日、自衛隊に脈々として伝わるのを自衛隊の老兵の一人として誇りとしたい。

（以下次号）